

報道関係者各位

令和4年（2022年）6月1日

近畿大学附属和歌山高等学校・中学校

## 附属和歌山高等学校・中学校「令和4年度 芸術鑑賞会」を開催 歴史ある茂山千五郎家の狂言を鑑賞し、日本の伝統文化に触れる

近畿大学附属和歌山高等学校・中学校（和歌山県和歌山市）は、令和4年（2022年）6月7日（火）に和歌山県民文化会館にて、全校生徒1,619人を対象とした「芸術鑑賞会」を開催します。今回は、400年の歴史がある茂山千五郎家による狂言「蚊相撲」、「附子」を鑑賞し、日本の伝統文化に触れ、情操を養う機会とします。



蚊相撲



附子

### 1. 本件のポイント

- 中学生、高校生が400年の歴史のある茂山千五郎家による狂言を鑑賞
- 狂言の楽しさ、面白さを感じとり、日本の伝統文化の素晴らしさを学ぶ
- 感受性が豊かな時期に古典芸能を鑑賞することで情操を養い、鑑賞マナーを身につける

# 取材のご案内

## 2. 本件の内容

本校では、毎年6月に歌舞伎や演劇などの舞台芸術をテーマとした全校生徒対象の芸術鑑賞会を開催しています。今回は、室町時代から現在まで受け継がれている日本最古の喜劇「狂言」を鑑賞します。400年にわたり狂言の普及・継承に努められている茂山千五郎家による演目「蚊相撲」、「附子」から狂言の楽しさ・面白さを感じとり、日本文化の素晴らしさを学びます。また、優れた伝統芸能を鑑賞することで情操を養い、芸術公演に適した鑑賞マナーを身につけることも目的としています。

## 3. 開催概要

日 時：令和4年（2022年）6月7日（火）

午前の部 10:30～11:50（824人 高1・2・3生対象）

午後の部 13:30～14:50（795人 中学生・高1生対象）

※高1生は2グループに分けて鑑賞

場 所：和歌山県民文化会館 大ホール（和歌山県和歌山市小松原通り1-1、南海電鉄南海線「和歌山市駅」から徒歩約20分）

対 象：近畿大学附属和歌山高等学校中学校 全生徒 計1,619人（中学生:555人、高校生1,064人）

公演内容：1.狂言解説 2.狂言「蚊相撲」 3. 狂言「附子」

## 4. 茂山千五郎家

茂山千五郎家は、江戸初期から京都在住の狂言師の家として歴史に残っています。特に六代目から禁裏御用（御所に出入りを許されている、今でいう「宮内庁御用達」のような家）の能楽師として、京都・奈良を中心に狂言を上演した記録が各地に残っています。九代目の茂山千五郎正帟が、時の大老・井伊直弼に見いだされ、彦根藩に抱えられて以降、当主名が「千五郎」になり、現在も十四代目の当主・千五郎を中心として、400年にわたり京都に息づいてきた狂言の普及・継承に努めています。また、茂山千五郎家の狂言はお豆腐のように広く愛され、飽きのこない親しみやすい狂言をめざしていることから「お豆腐狂言」と語り伝えられています。

## 5. 本資料の配布先

和歌山県政記者クラブ、和歌山地方記者室、和歌山県政放送記者クラブ

### 【本件に関するお問合せ先】

近畿大学附属和歌山高等学校・中学校

担当：渡瀬、松岡

TEL：073-452-1161 FAX：073-451-0394